

：行き詰まり症候群

5：直感が突破口を開く

アンディ美湖

(訳：美湖純子)

Copyright 2001 Andy Meeko

奇妙な感覚にとらわれた事がありますか？あなたが今体験していることが、なぜかどこかで同じことを見たことがあると。あるいは、問題に洞察力をあたえるような夢をみたことがありますか？もしくは状況は正反対であるにもかかわらず、これが正しいとなぜか判断できたことがありますか？精神の未開地、直感の世界によろこそ。直感私達の理性に挑み、証拠と説明を超越しています。正確には何かというとな確かなものです。人間が持ちうる第六感というものでしょうか。私達にはわかりません。それは厳密に人間の能力でしょうか。はっきり言う事はできません。しかしクリスチャンであろうと異教徒であろうと同様に直感を用います。それゆえ、神様に焦点を当てているかどうかを、基本的判断基準とする必要があります。なぜなら確かに、私達を惑わす多くの危険な霊力があるからです。

神様が人間に理性的に理解できない特別な識別力を与えられたことを示す多くのものがあります。直感をより重要視する社会もあります。ある古代の文化は、生き延びるために直感に随分頼っていたことでしょう。薬用のためのハーブや植物の使用法のおびただしい知識は直感から与えられたのかもしれない。試行錯誤という方法は実際的に不可能だからです。そうでなければあまりにも危険ですから。多分私達の現代社会は直感の力を忘れてしまったのでしょう。理性的考え方にずいぶん重点をおいているようです。私達の教育は私達をごまかし、考え方の狭い人々をつくりだしました。Mark Twainの忠告を心に留めるのが賢明でしょう。「伝統的な教育が、学ぶことの妨げとなってはならない。」

もちろんクリスチャンは直感の世界を恐れるべきではありません。その反対にクリスチャン生活は直感的なものを中心に創造されています。私達は誰よりも自分達の考えを離れ、神秘的で奇妙な導きに心が開かれているべきです。聖書は不思議な神の促しや導きに満ちています。しかし現代、同じような直感的な実例をどこで見つけることができるでしょう。あまり考えたことがないかもしれませんが、このような例があります。夜になると駅の近くにあちこち小さい屋台が現れます。そうです、易者です。この人たちは、人口の大きな割合に - 特に若い女性に対して霊的な相談を受け助言を与えているようです。明らかに多くはいかさま師ですが、彼らは社会において空虚さを埋めるという、たぶん本来は教会が果たすべき役割を担っているのです。人々は直感的な霊的助言を求めているのです。キリスト教界における霊的助言で私が見つけた最善の例の一つはカトリックと英国国教会の中に根付いていました。少なくとも Desert Father の時代(4世紀)以来、霊的指導(Spiritual Direction)の訓練がありました。それは魂を扱う全体的なアプローチで、非常に直感に富んだものです。その指導者はリーダー達の霊性に特別気を遣い、洞察力をえるために神様の導きと促しを求めるのです。私達も霊的指導の直感的流れから多くの恩恵を得

られるのではないでしょうか。

では行き詰まった教会にとって、直感から具体的にどのような恩恵を受けられるでしょう。まず私達は、この世界は新幹線の速さで変わっているということを心に留めなければなりません。機会が訪れ去っていくのは光陰矢の如しです。タイミングがすべてです。行き詰まっている教会は、しばしば機会を捕らえて行動するチャンスを見逃します。そのような教会は、一般に他教会を模倣しようとし、直感を用いること、すなわち聖霊のそれぞれに与えられた導きを求めようとしないで、、、Barna は次のように述べています。「見真似ミニストリーは大抵決まって成長するどころか後退という結果に終わる。」その鈍さのために、行き詰まった教会は神様が与えられた機会を見逃してしまうのです。身近な例では、現在の家族に対する働きを上げることができるでしょう。70年代に家庭を顧みなかったことを振り返ると、現在直面している問題を予測するのはそんなに難しいことではなかったはず。近年子育ての話題は大きな関心が寄せられていますが、教会はやっと最近それに気付き始めました。しかし一年前日蓮正宗は、登校拒否の子供達にどうしてよいか途方に暮れている親達のために、80以上のカウンセリングセンターを設け、600人以上の訓練された信徒カウンセラーがいると報告しました。今日の風潮を考えると、とても賢い動きです。

それではどのように直感を用いたらよいのでしょうか。掴むことと放すことのバランスが大切です。まず物事の状況をしっかり把握し、その上で神様の御前にその情報を脇において、神様ご自身を見上げるのです。神様はしばしばその情報を用いられますし、時には全く新しい方向に導かれます。この掴むことと放すことのバランスは、私達が能無しでないことを理解し、それでいて肉に頼ることを打ち砕くのです。

直感を用いることは危険に思えますか？数年前キャンパスクルセードの創始者であるビル・ブライ博士は、南カリフォルニアに大学を建てるよう神様が導いておられると確信しました。このプロジェクトのために何億円もが投資されました。しかし結局失敗に終わり、全て失いました。ブライ博士はいまだになぜこのようになったのか分かりません。私はブライ博士が非常に謙遜な人であることを知っています。世界で一番大きな伝道団体を創設し、歴史上最も影響力のある人物の一人であるにもかかわらず。私達はビル・ブライ博士の直感の間違っていたと考えるかもしれませんが、神様がそのように導かれたのかもしれませんが。結局何がより重要だったでしょう。もう一つの大学か、それとも謙遜な指導者か。

直感を用いない人は恐れかプライドのためであるかもしれません。神様が導いてくださらないかもしれないという恐れ、また自分の力で何とかできるというプライド。どちらにしても教会は行き詰まってしまいます。それでは私達の直感的能力にもっと調子を合わせるにはどうしたらよいのでしょうか。ここに言い訳をしてしまういつものパターンをやめ、感覚的な新しい方法を発見するためにできる様々なことを列挙してみましょう。

逆説的に考える

夢を思い巡らす
普段聴かない音楽を聴く
騒がしく忙しい人々を避ける
ある期間断食祈祷をする
詩を何度も何度も読み返す
自然に敏感になり、耳を傾ける
想像の領域を広げる
神様によって導かれていない約束は取りやめる

もし私達の教会が行き詰まっているなら、多くの場合私達の精神や思考パターンも行き詰まってるようです。もしどうにもならない状態なら、直感によって問題を全く新しい見方で見ることができるかもしれません。

私の直感に対する理解は多くの面で私の父の人生からきています。父は物事を深く考える人でしたが、同時にどこか神秘的なところがありました。父の直感の一つの例は、私の兄の死と関わっています。私は5人兄弟ですが、父は兄のスティーブに何か直感したのでしょうか。不思議なことに、父はスティーブだけに生命保険を掛けました。その年に、スティーブは高速道路で、前に走っていたトラックのスペアタイヤの直撃を受け、32歳で亡くなりました。その翌年、長い間糖尿病を患っていた父が体も弱くなり亡くなりました。父の死後、兄の保険金が下りました。それで亡くなった時には、父は貧しい退職宣教師でしたが、母が生活していけるよう備えることが出来たのです。父はどうしてこのように直感することが出来たのでしょうか。神様だけが知っておられます。しかし神様は私達に多くのことを伝えたいと願っておられると思います。毎日神様は語っておられます。私達は一生懸命祈りますけど、み声を聴こうとしていないのでしょうか。神様に知恵を求め、行き詰まり症候群から開放してくださいと真に求めているのでしょうか。悟りは沈黙、静止の中にあらん。